

きのこのやくそく

PROMISE

かならず大人と いっしょに

どんなきのこも、
ぜったい口に入れない

くわしい人でも、見ただけでは まちがえることがある。なめるのもダメ。

赤い「ゆび」みたいなきのこは、さわらない

カエンタケかも。さわただけでひふがはれることがある。

きのこにさわったら、石けん
で手をあらう

目や口をこするまえに。

とらずに、写真でもちかえる

きのこは同じ場所に また生えてくる
ことが多い。

犬もきのこに近づけない

ペットがかかる事故もある。

形でしらべる

FIND ITS GROUP

かさ
と柄がある

↓ 下へ

木から たなのように
サルノコシカケ・ツキヨタケなど

おわん・コップ
チャワンタケ

ボール・星
ホコリタケ・ツチグリ

レース・あみ・くさい
スッポンタケ

ゆび・ぼう・サンゴ
赤ならカエンタケ！／ホウキタケ

虫から生える
冬虫夏草

かさ
と柄なら、
うらがわを見る

スポンジ
→ イグチ

ひだ
→ 下の7つを左上から

根元にふくろ（つぼ）・柄にスカート（つば）

ツキヨタケなど

かさ
が黒く とけている

ヒトヨタケ

しばふで輪になって並ぶ

しばふの輪

きずから白い しる（乳）

チチタケ

かさ
があざやか・柄が白く太い

ベニタケ

どれでもない

ふつうの形

きのこの からだ

PARTS

かさ
ひだ
つば
え
つぼ
きんし

つぼは落ち葉や土にかくれていることがある。木のえだでとけて見よう。本体は土の中の菌糸。

なかま ずかん 17 GROUPS

さわらない

猛毒のなかまがいる

毒のなかまがいる

印がなくても食べない（同じなかまにも毒がいて、見た目では分けられない）

テングタケのなかま

テングタケ・ドクツルタケ など

猛毒のなかまがいる

林や公園の木の近くの地面・初夏～秋

見る

根元に たまごのからのようなふくろ（つぼ）。柄にスカート（つば）。つばがない なかまもいる。

まっ白なドクツルタケは、1本でも命にかかわる猛毒。

カエンタケ

赤い「ゆび」の形

さわらない

枯れたナラやカシの木の根元・夏～秋

見る

赤～オレンジの、指やほのおのような形。地面からによきによき。

さわただけでひふがはれることがある猛毒。見つけたら近づかず、公園の人に知らせよう。

ベニタケのなかま

ドクベニタケ・ニセクロハツ など

猛毒のなかまがいる

シイ・カシ・マツの林の地面・夏～秋

見る

かさ
が赤・みどり・むらさき・黒など。柄が白くてチョークのようにもろい。

黒っぽいニセクロハツは猛毒。西日本のシイの林に出る（九州でも見つかったり）。

チチタケのなかま

チチタケ・ツチカブリ など

林の地面・夏～秋

見る

きずのところから、しる（乳）が出る。白いことが多い。

「乳」が出るから チチタケ。しるの色が変わるなかまもいる。

イグチのなかま

アカヤマドリ・イロガワリ など

毒のなかまがいる

林や公園の木の下の地面・夏～秋

見る

かさのうらがスポンジ（小さなあながいっぱい）。ひだがない。

ドクヤマドリなど、毒のあるものもいる。

枯れ木にむらがる ひだのきのこ

ツキヨタケ・ニガクリタケ など

猛毒のなかまがいる

枯れ木・切りかぶ（ツキヨタケは山のブナ）・夏～秋

見る

枯れ木や切りかぶに、たくさんかさ
なで生える。かさのうらはひだ。

ツキヨタケは日本の毒きのこ事故でいちばん多いきのこのひとつ。切りかぶにむらがるニガクリタケも毒。

ちゃいろ・白の ふつうの形のきのこ

クサウラベニタケ など、とてもたくさん

毒のなかまがいる

どこにでも・一年じゅう（とくに秋）

見る

かさ
と柄とひだ。とくちょうが見つからない。

いちばん見分けにくい形。毒きのこ事故の多いクサウラベニタケもこの見た目。

ヒトヨタケのなかま

ササクレヒトヨタケ・キララタケ など

しばふ・道ばた・切りかぶ・春～秋（雨のあと）

見る

かさのふちから、黒いインクのようにとける。

一晩でとけてしまうから「一夜」タケ。

しばふの輪（菌輪）

シバフタケ・コムラサキシメジ など

公園や校庭のしばふ・つゆ～秋（雨のあと）

見る

しばふに、きのこが輪になって並ぶ。輪のところだけ しばがこい緑。

地面の下の菌糸がまわりへ広がるので、輪は年ごとに大きくなる。

サルノコシカケのなかま

カワラタケ・マンネンタケ など

枯れ木・切りかぶ・木のみき・一年じゅう

見る

木からたなのように出る。革や木のようにじょうぶで、かさのうらは小さなあな。

カワラタケは、しまもようが屋根のかわらのよう。何年も生きるなかまもいる。

キクラゲのなかま

アラゲキクラゲ・シロキクラゲ など

枯れ枝・倒れた木・一年じゅう（雨のあと）

見る

ぶるぶるのゼリー。耳のような形。

かわくとカチカチにちぢみ、雨がふるとまた ぶるぶるにもどる。

ホコリタケのなかま

ホコリタケ・ノウタケ など

林の地面・しばふ・夏～秋

見る

ボールやふくろの形。かさも ひだもない。

古くなると、雨つぶが当たってぼふっ
とけむり（胞子）が出る。

ツチグリのなかま

ツチグリ・ヒメツチグリ など

林の地面・日のあたる土手・夏～秋

見る

星の形に開いた皮のまん中に、ボール。

ツチグリは、しめると星が開き、かわくととじる。

スッポンタケのなかま

キヌガサタケ・カゴタケ など

竹やぶ・林・木くずの上・つゆ～秋

見る

レースやあみ、かごの形。そばに行くときくさい。

くさいにおいでハエをよび、胞子をはこんでもらう。福岡市では黄色いレースのウスキヌガサタケも見つかったり（めずらしい）。

ホウキタケのなかま

ホウキタケ など

林の地面・夏～秋

見る

サンゴやほうきのように枝分かれ。白・黄色・うす紫。

赤～オレンジならカエンタケかも。まよったら さわらない。

チャワンタケのなかま

ヒロコチャワンタケ など

地面・枯れ木・春～秋

見る

おわんやコップの形。

おわんの内がわで胞子をつくる。

虫から生える きのこ

セミタケのなかま・クモタケ など（冬虫夏草）

林の地面・つゆ～夏

見る

地面からのびた細い柄の下に、虫がいる。

土の中のセミの幼虫やクモから生える。福岡にもいるけれど、小さくてめったに見つからない。

おうちで じっけん：胞子のまよう

1 かさ
の開いたきのこの柄をとる（大人と）

2 白と黒の紙に かさをふせ、コップをかぶせる

3 一晩おいて、そっともちあげる

シイタケ

白

マッシュルーム

むらさきがかった
こげ茶

ヒラタケ

白～うすいむらさき

もっていくもの

スマホ・カメラ

10

10円玉

ルーペ

写真を4まい

大さをくらべる

きろくカード

うすい手ぶくろ

木
のえだ・へら

きろくカード

大人の
さがわるときに

木
のえだ・へら

きろくカード

大人の
さがわるときに

木
のえだ・へら

きろくカード

とらずに 写真を4まい

上から

横から

うらがわ

根元

おうちの方へ

食中毒の原因で特に多いツキヨタケ・クサウラベニタケは、食用きのこによく似ています。このポスターは食べられるかを一切扱わず、「〇〇のなかま」まで当てる観察と、危ないものに触れないことだけを目的にしています。

食べたかもしれないときは、具合が悪くなくても早めに受診し、きのこの残りや写真を持参。相談は中毒110番 大阪072-727-2499／つくば029-852-9999（24時間）。

きのこ見分けずかん 出典：農林水産省／厚生労働省「自然毒のリスクプロファイル」／各自治体のカエンタケ注意喚起ほか。イラストは特徴を強めた模式図で、実物の色・形には幅がある。